

## 1 研究の趣旨

スーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業は、科学技術立国としての日本を支える人材の育成、理科学の新規カリキュラム研究等を目的として行われている文部科学省の研究開発事業である。またSSH校のうち、特に中核を担う高校を指定するコアSSH事業も実施されている。コアSSHでは海外研修、特定テーマによる共同研究、地域での連携活動等が全国で行われている。

本校は平成19年度より5年間SSHに指定され、さらに今年度より新たな研究開発課題のもと、SSH（5年間）、およびコアSSH（3年間）の指定を受けた。SSH、コアSSHともに、震災からの復興をテーマの一つとし、科学への興味関心の高揚や将来の科学技術系人材の育成を目指すことを趣旨として研究開発を行っている。コアSSHでは他校との連携を重視し、様々な取組を展開している。

## 2 研究の概要

### (1) SSH

① 研究テーマ：震災・原発被災地として国内外に認知された福島の地域性と5年間のSSH研究開発を融合し、災害復興を可能とする領域横断的な科学力と国際コミュニケーション力を持つ次世代型の指導的人材育成プログラムの開発研究

### ② 具体的な取組み

- 学校設定科目「SSH総合」による、課題研究力を醸成する学習カリキュラム開発研究
- 学校設定科目「SSH探究」による、課題研究推進プログラム開発研究
- 学校設定科目「数理情報」による、情報機器を活用した理科・数学科のカリキュラム開発研究
- グローバル社会に適應できる科学人材育成プログラム開発研究
- 「福島復興」を基盤としたキャリア教育プログラム開発研究

### (2) コアSSH

① 研究テーマ：地域への自信、誇り、愛情を科学技術の側面から育み、難局を打破する素養をもった人材を育成するための連携体制の構築～ふくしまサイエンススクールコミュニティー（FSC）の創設～

② 中核拠点校：会津高校 会津学鳳高校 安積高校 磐城高校 相馬高校 福島高校

中核拠点校は企画運営を中心的に実施し、他の高校はその取組に参加することができる。

### ③ 具体的な取り組み

- 課題研究・サイエンスコミュニケーション：課題研究の支援、実験教室、サイエンスフェアの実施
- 福島復興人材育成：現状の理解、復興に向けた高校生による提言や企画提案
- 福島理数系セミナー：物化生地数についての科学系オリンピックに向けた学習会、宿泊学習会の実施
- グローバル人材育成：海外研修、事前研修、事後研修

## 3 成果と今後の課題

SSH、コアSSHともに今年度から始まった事業であり研究開発途上である。成果としては、様々な機関との連携体制の構築、全国規模のコンテストにおける受賞等が挙げられる。今後の課題としては、取組の周知、内容の更なる充実、小中学校も含めた連携や参加者の増加等が挙げられる。